

福島第一原子力発電所の状況

2015年9月14日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (9/14 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	27.5	0.4 kPa g	A系： 0.01 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約2.1 m ³ /h	33.3	4.26 kPa g	A系： 0.03 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.04 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	31.9	0.25 kPa g	A系： 0.06 vol%
		炉心スプレイ系：約2.2 m ³ /h			B系： 0.06 vol%

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (9/14 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	27.5
2号機	循環冷却システム	運転中	27.8
3号機	循環冷却システム	運転中	24.4
4号機	循環冷却システム	運転中	23.6

各号機 SFP および原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
1号機	タービン建屋	1号機廃棄物処理建屋	9/12 13:03 ~ 9/12 15:07 移送実施
2号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	9/11 9:46 ~ 9/11 15:36 移送実施
		" (高温焼却炉建屋)	9/11 16:58 ~ 移送実施中
3号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(プロセス主建屋)	9/11 9:46 ~ 9/11 15:36 移送実施
			9/12 10:16 ~ 9/13 9:54 移送実施
			9/14 10:14 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (9/14 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	運転中	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2	ホット 試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2015/9/10 海側遮水壁について、鋼管矢板の打設作業を再開。

- ・2015/9/11 12:10 頃、H4北タンクエリアにおいて内堰から雨水が漏えいしていることを発見。漏えい状況は鉛筆1本程度であり、同タンクエリアの外堰の排水弁は「閉」状態であることを確認。その後、14:12に止水セメントによる止水処理を実施し、漏えいが停止。外堰内に溜まっている雨水は15:55から内堰内に移送していたが、回収作業が終了したことから、同日22:00に移送を停止。

H4北タンクエリア内堰内、外堰内、および漏えい箇所から採取した雨水の分析結果は以下の通り。

< H4北タンクエリア内堰内の雨水 >

- ・セシウム134:検出限界値(2.1 Bq/L)未満
- ・セシウム137:3.3 Bq/L
- ・全ベータ:1000 Bq/L
- ・トリチウム:170 Bq/L

< H4北タンクエリア外堰内の雨水 >

- ・セシウム134:検出限界値(2.1 Bq/L)未満
- ・セシウム137:検出限界値(2.8 Bq/L)未満
- ・全ベータ:420 Bq/L
- ・トリチウム:検出限界値(94 Bq/L)未満

< 漏えい箇所から採取した雨水 >

- ・セシウム134:検出限界値(2.1 Bq/L)未満
- ・セシウム137:5 Bq/L
- ・全ベータ:1200 Bq/L
- ・トリチウム:160 Bq/L

また、9/12 11:30 頃、現場パトロールを行っていた当社社員が9/11に漏えいが確認された箇所から約10m離れた場所の内堰より、10秒に1滴程度の滴下があることを確認。そのため、滴下箇所にビニールの受けを設置し、漏えい拡大防止措置を実施。その後、同日12:07に止水材による止水処理を実施し、滴下が停止したことを確認。また、当該箇所周辺に水溜まりは確認されていない。

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06 ~ 7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 ~ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

[海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況]

- [2号機]・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約4,500m³の除去完了。7/10 充填完了。
- [3号機]・2015/7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約5,500m³の除去完了。8/27 充填完了。
- [4号機]・2015/4/15 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

[サブドレン他水処理施設の状況]

- ・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。
- ・一時貯水タンクAの分析結果[採取日:8/19]が当社および第三者機関による分析結果が同等の値であり、運用目標値を満足していることを確認したことから、9/14 10:01より海洋への排水を開始。同日15:47排水を停止し、16:06に排水停止状態に異常がないことを確認。排水量は838m³。
- ・一時貯水タンクBの分析結果[採取日:8/19]が当社および第三者機関による分析結果が同等の値であり、運用目標値を満足していることを確認したことから、9/15に海洋への排水を行う予定。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。

[1 ~ 3号機放水路の状況]

- 1 ~ 3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- < 最新のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- < K排水路排水口のサンプリング実績 >
- ・9/13 採取分について、セシウム134、137、全ベータの値が前日の分析結果よりも低下していることを確認。

[H4, H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

< H4エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・観測孔E - 2の全ベータ放射能が200Bq/Lであり、前回値(9/8採取分:検出限界値未満(検出限界値:17Bq/L))と比較して10倍以上の上昇を確認。上昇の原因は大雨の影響により、当該観測孔にH4北タンクエリア外堰内の水が混入したものと考えている。その他の分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。今後も監視を継続していく。

< H6エリア周辺のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

< 地下水観測孔サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

< 海水サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上